

あ み だ じ  
阿 弥 陀 寺  
だ よ り

2024年 1月 1日 第 59号

金剛山 阿弥陀寺

発行人 大谷 義文

〒 861-2235 熊本県 上益城郡 益城町 福富 916

☎ (096) 289-0424 ㊚ (096) 297-9161

✉ amidaji@jcom.zaq.ne.jp

ホームページ [金剛山 阿弥陀寺](#) [検索](#)

郵便振替:01710-8-68921 加入者名:阿弥陀寺事務所

恭賀新年



益城町の田園 いのちのみなもと

大悲に生きる人とあう

願いに生きる人となる

「疑」った、とき

大谷 義文

諸説あるが「疑」は、人が後ろを振り返り去就が定まらない様を示している文字と教えられる。人は、疑いを抱いた時、心のどこかで信じることを望んでいる。

私自身を省みるに、「こつちの水は甘いぞ」という情報に安易な判断で疑いを消し、常々立つ場を失くしている。

去年は関東大震災から百年にあたり、未曾有の出来事を前に生じた人の衝動を考えさせられた。

狂瀾怒濤の中「誰かが襲ってくるぞ、殺されるぞ」という流言。しかし「そんなことデマだ、嘘だ」という「疑」があった。

それが私の中にある、わずかな情報により一瞬にして押し潰された。さらに、「あの人が言うのだから」と、権威も後を押した。その結果、私たちは取り返しのつかない大惨事を犯してしまった。

その時、私の中で「疑」は「信」に正当化される。懐疑する情報を持ついても出さない、出てこないのが私だ。

以前、先生に「疑」を生じた時の対処法は、立ち止まり思慮すること。その時に必要な情報は、先人の姿、残された書物等にあると教えられた。

親鸞聖人は、お弟子に「人は、然るべき条件が整えば何でもしてしまう」と、自身の思惑に流される存在を伝えている。それは、私も被害者になるかもしれないではなく、私も加害者になりうる存在だということだ。この言葉に、お弟子は「疑」を保つことができた。

毎回「阿弥陀寺だより」に同封している「こまつたときの親鸞聖人」安田登師（能楽師）から今年も連載のお約束をいただいた。立ち止まれるか。



佐土原本店

熊本市東区佐土原1-12-1(佐土原バス停前)

電話 096-360-8488

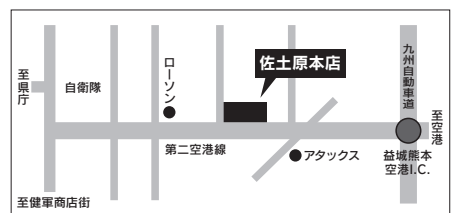
営業時間

昼/11:00~15:30(オーダーストップ15:00)

夜/17:00~21:30(オーダーストップ21:00)

定休日/毎週火曜日(祝日の場合翌日振替)

7・8月、12・1月は不定休



<http://www.kawasen.jp/>

# 過去帳に父母の匂ひや 秋茜

## 寺子屋

「語りの秋」  
安田登 (能楽師)  
玉川奈々福 (浪曲師)  
笑福亭笑利 (落語家)



浪曲師 玉川奈々福  
曲師 広沢美舟



ポヤポヤ

水鏡短歌会 主宰 友田哲郎



宴会で、「三度笠」の扮装をして踊る父

一昨年、十二月。父が九十八歳で永眠。阿弥陀寺本堂での通夜で、父を詠んだ短歌を数首読み上げました。  
・父の漕ぐ  
自転車に乗り登園せし  
空はスカイと父は教へし  
小説を  
毎夜自分で録音し  
父は届けし病室の母へ  
腕相撲  
誰にも負けたこと無き父  
無敗のままに腕細りたり  
両親を見送つたのを  
機会に、小さな仏壇を購入  
入しました。  
そして、入仏法要の際、  
「入仏とは仏壇に仏さまが入るのではなく、仏壇に手を合わせることによる、私の中に眠っていた『仏の心』が目覚めさせられることなのです。その最初のおつとめが、今日の入仏法要です」と、お話しがあり深く感銘を受け、毎日仏壇に手を合わせ仏心を目覚めさせるよう努めています。

### オフビート Off・beat

総代のつぶやき 47

皆さんこんにちは。総代の森雄です。社会保険労務士をしています。シャブに熱狂した、青春時代を回想して書いています。つぶやきを合います。合います。

### 『大江戸日記』

釋芳隆(大谷隆) 第7回



コロナワクチン5回目の接種をした。予約した近所の病院へ向かうと「あなたは受けられません」と言われた。接種券を持たず、財布一つで来てしまったのだ。少し前まではワクチン接種の情報などを調べていたためこんなことはなかった。意識が薄れたからか、  
ついうっかりしてしまった。しかし、医療現場も以前の感染拡大時に比べると、少し肩の荷が下りた頃かもしれない。そんな時、気になる記事を見つけた。  
最近、医療従事者のネイルアートについて、内外部からの批判が相次いでいるという。確かに、心と体を病んで来る場所にオシヤレは不要な気がする。しかし、規則がな  
いのも事実。医療従事者のオシヤレはどこまでいいのかとネットでは定期的に議論されている。  
一方、ネイルアートは古代エジプトが起源という。当時は、ネイルの色に生命と保護を意味するものがあつたという話もある。  
尻理屈ではあるが、そんな視点でこちらも少し肩の力を抜いて見守ってみようか。

### 『肥後山中隠栗毛』

釋智明(川村智明) 第23回

阿弥陀寺では、年末になるとすべての蛍光灯を交換しています。今年も、必要な大きさと数を調べて、地元の家電店さんで買いそろえました。  
さつそく取り換え作業に入ると、お寺のお母さんが「まだ明るくて使えそうなのね」と言いました。私は「たしかにそ  
うですね。でも、電気が切れる前に交換しておこうという考えだと思えます。その他には、この地域の商店に貢献するということの意味も含まれているかもしれません」と言いました。  
これは、以前に住職が「お寺に必要なものは、できるだけ地元のお店で購入する」と言っていたことの受け売りでした。お母さんは「なるほ  
どね。亡くなった主人も毎年必ず換えよつたんよもつたないなと思つてね。だけど、せつかく高い場所の蛍光灯を交換してくれているから文句は言えんやつたけど。主人もそんな考えやつたんやろか」と言いました。  
私は「どうでしょうかね」と言うと、お母さんは「わからん」と言いました。答えのない間を考  
えるのもいいものです。

### 『御修行奮闘記』

釋博真(柳原真人) 第44回

近頃は、無駄がないことが評価される世の中で。私も日々、これは役に立たない、やつても意味がないと切り捨てています。  
しかしある時、テレビでタレントさんが、「子どもの写真を見返すと、澄ました顔や笑顔ばかりで、泣いた写真がひとつもない。残しても仕方ないと思つていたけど、後悔している」と言われました。アルバムを開くと、見なれていた子ども  
の泣き顔をもう一度見た  
「入仏とは仏壇に仏さまが入るのではなく、仏壇に手を合わせることによる、私の中に眠っていた『仏の心』が目覚めさせられることなのです。その最初のおつとめが、今日の入仏法要です」と、お話しがあり深く感銘を受け、毎日仏壇に手を合わせ仏心を目覚めさせるよう努めています。

### 想送の木山葬儀社

お問い合せは！(24時間)  
益城町富岡547-3 096-286-4640  
携帯 080-5214-4640  
メール info@kiyamasougi.jp

### 阿弥陀寺 様でのお葬式

ファミリープラン (家族・親族の安心プラン) 33万円より 税込  
他のプランもございます。以下の内容が含まれます。

御棺一式	納骨一式	霊柩搬送	ドライアイス	遺影写真	生花祭壇
------	------	------	--------	------	------

含まれないもの・・・返礼品、食事、火葬料金  
1日葬プランもあります。19.8万円(税込)より

### 成人部

漢字/臨書/かな/ペン/くらしの書(実用書道)

### 生徒部

幼児・小中学生  
各学年(毛筆・硬筆)

# 生書道教室

指導者 生 春翠・勝弘

〒862-0910 熊本市東区健軍本町6-10 電話 096-369-1138

# 報恩講 (親鸞聖人のご法事)

日時・1月13日 (土曜日)

午後1時から読経・法話 4時終了予定

法話・日野智深 布教使 (滋賀県 称名寺住職)

落語・笑福亭 笑利さん (落語家)

演奏・ポヤポヤ

※終了後、懇親会あります。ご自由に参加してください。

# 差向け布教

納骨堂追弔法要 永代経法要

日時・2月26日 (月) 午後1時30分〜3時30分

法話・葦名 彰 布教使 (大阪府 妙圓寺 住職)

(真宗佛光寺派 大阪別院 輪番)

# 年回忌表 令和6年(2024)

- 1周忌 令和5年(2023)
- 3回忌 令和4年(2022)
- 7回忌 平成30年(2018)
- 13回忌 平成24年(2012)
- 17回忌 平成20年(2008)
- 23回忌 平成14年(2002)
- 27回忌 平成10年(1998)
- 33回忌 平成4年(1992)
- 37回忌 昭和63年(1988)
- 50回忌 昭和50年(1975)

上記が今年の年回忌です。ご予約が決まりましたら、お寺に連絡をお願い申し上げます。



## 令和6年 法要

寺子屋予定

### ●報恩講

1月13日(土) 13時〜

法話 日野智深 布教使

落語 笑福亭 笑利さん

演奏 ポヤポヤ

### ●差向け布教

2月26日(月) 13時30分

法話 葦名 彰 布教使

(大阪・妙圓寺)

### ●春彼岸会 法要

3月17日(日) 13時30分

「精神科医と

能楽師と読む経典」

安田 登 師 (能楽師)

大島淑夫 師 (精神科医)

演奏 ポヤポヤ

### ●法話の会

5月26日(日) 14時〜

法話 川村 智明

栃原 真人

大谷 義文

### ●寺子屋

6月16日(日) 14時〜

安田 登 師 (能楽師)

演奏 ポヤポヤ

### ●法話の会

7月7日(日) 14時〜

法話 川村 智明

栃原 真人

大谷 義文

### ●秋彼岸会 法要

9月23日(月) 13時30分

法話 中井 賢隆 布教使

(大阪・最勝寺)

はがみちこ 布教使

(岡山・正覚寺)

有馬麻衣子 布教使

(長崎・正覚寺)

演奏 ポヤポヤ

### ●寺子屋

11月3日(日) 14時〜

安田 登 師 (能楽師)

玉川 奈々福 師

(浪曲師)

演奏 ポヤポヤ

### ●歳暮の会

12月21日(土) 14時〜

安田 登 師 (能楽師)

ゲスト未定

演奏 ポヤポヤ

※諸事情により、予定を変更する場合がございます。

お寺に問い合わせをお願いします。

## 葬儀・祭壇

# 熊本県儀式共済株式会社

ハタオ葬儀社

## 水前寺斎場

熊本市中央区国府1丁目12-3  
TEL.096-364-3220

ハタオ葬儀社

## しみず会館

熊本市北区清水新地7丁目4-27  
TEL.096-342-5657

豊住葬祭

## 豊住葬祭斎場

熊本市中央区河原町23  
TEL.096-324-4848